

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	三木自由が丘ゆらんこ		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 31名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが笑顔いっぱい「たのしい」という、たくさんの経験を通して、いろいろな物事に興味関心を持ち、チャレンジする気持ちが芽生え、子どもたちの「できた！」が増えていけるような活動や環境を整えています。	職員全員が明るく・楽しく・元気に子どもたちや保護者の方と関わることを意識しています。そのなかで子どもたち一人一人の「たのしい」を見つけていき、個々に合わせた関わりをおこなっています。	これからも子どもたち一人一人、そして保護者の方々との関わりを大切にしていき、「たのしい」があふれる事業所にしていきます。
2	女性・男性を含む幅広い年齢層の保育士や児童指導員、心理指導員、社会福祉士など様々な専門分野の職員を配置しており、支援や活動におけるアプローチの幅を広げています。	一人一人の発達やその時の様子、状況に応じて、それぞれの専門分野の職員が連携をとりながら支援をおこなっています。	各職員の専門分野の領域だけでなく、他の分野の知識・情報の理解を深めて、現場に活用していきます。
3	ご自宅や各園などに送迎をさせていただいております。	時間帯や場所にもよりますが、できる限りご希望に添えるように送迎に行かせていただいております。その際に場所やルート確認、時間等の事前準備をしています。子どもたちが乗り降りする際は常に職員が1対1でつき、安全の確保に努めています。	送迎範囲の拡大を考えております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSの活用	SNSでの発信不足	SNS等の発信など、三木自由が丘ゆらんこがどういった事業所なのか、どういった活動をしていて子ども達などの様子をより知っていただきたいと思っております。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	三木自由が丘ゆらんこ
------	------------

公表日 令和8年 2月 1日

利用児童数 令和7年 1月 31日 時 31 回収数 31

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31				・広いスペースで十分だと思います ・いつもきれいに整理されていて十分だと思います	ありがとうございます。今後もより良い環境を作っていきます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	31				・年齢層や性別も含め十分だと思います	ありがとうございます。今後も職員は増やしていく予定です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31				・2つの部屋それぞれ何をする部屋なのかわかりやすくされています。自宅の環境の参考になります	ありがとうございます。今後も参考になる環境を作っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31				・月ごとに装飾を変えておられていつも子どもと楽しみにしています	ありがとうございます。今後もより良い空間を作っていけるよう心掛けていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31				・いつも具体的に説明をしてくださっています	ありがとうございます。今後も職員の質を高めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31				・いつもいろんなことを考えておられて驚いています	ありがとうございます。今後も子どもたちが楽しめるプログラムを考えていきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	25			6	・他地域にお出かけなどで連れて行ってくださっているので交流はあると思っています	ありがとうございます。これからも少しずつ交流の機会や場を作っていきたいと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	3		3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	31				・連絡帳もたくさん書いてくださっていて送ってくださった時もたくさんお話をしてくださいますし何かあれば電話もくださっています。充分にしてくださっています	ありがとうございます。これからも保護者の方々のコミュニケーションを大切にしていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31				・お忙しいのにいつでも相談にのってくださるので安心です	ありがとうございます。今後もいつでもご相談していただける環境を作っていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31				・お若い先生にも相談しやすいので、しっかり教育されているのだと感心しています	ありがとうございます。これからも保護者の方々に寄り添えるよう努めていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	31				・いつも楽しいイベントで祖父母含め家族全員で参加させていただいています。 ・ママだけでなくパパ同士の話せる機会なのでとても助かっています ・イベントを兄弟もいつも楽しみにしています	ありがとうございます。これからもご家族の皆様が楽しく交流できるイベントにしていきたいと思っています。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31				・急な事にも対応してくださっています	ありがとうございます。今後もいつでもご相談していただける環境を作っていきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31				・先生優しいと言ってます ・帰ってきた時に楽しかった話をたくさんしてくれます	ありがとうございます。これからも子どもたちが安心して楽しく通っていただけるような環境を整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31				・毎日ゆらんご行きたいと言っています ・私も先生方とお話しできるのが楽しみです	ありがとうございます。私たちもお話しできるのを楽しみにしております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	31				・満足です ・いつもありがとうございます ・不安がなくなりました	ありがとうございます。これからもより満足していただけるよう努めます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	三木自由が丘ゆらんこ	公表日	令和8年 2月 1日
------	------------	-----	------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		活動内容や利用人数によって2部屋に分けて活動を行っています。なるべく物は最低限にして、使用しなくなった物は随時片付けています。	今後も1人1人子どもたちが過ごしやすい環境を整えていきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		配置基準のみでなく、利用される児童・人数に合わせて職員を配置しています。	現状の取り組みを実施していくとともに、配置できる数を増やしていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		靴箱やロッカー、スケジュールや物の置き場所には個々に応じたものを視覚的に提示しています。また段差にはステップ台を置き、角があるものはクッション剤を貼っています。	現状の取り組みを実施していくとともに、随時設備等の見直しを行い、改善できるところは早く変更していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		登所前、お昼、降所後の清掃を徹底し定期的に換気も行っていきます。子どもたちの作品や季節ごとの壁面も飾りワクワクするような環境作りを行っています。	今後も清潔で安心感のある環境作りを行い、子どもたちが心地よく過ごせる場所を作っていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		その時の子どもの体調や様子で必要に応じて個別に多目的室や相談室を使用できるような環境作りを行っています。	現状の取り組みを継続していくとともに、よりよい案があれば取り入れていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		職員会議や何か改善すべきところがある場合は、その都度職員と議論、検討しております。	現状の取り組みを継続していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的に保護者の方とお電話や直接お話をさせていただく機会を設けています。そのなかで保護者の意向や要望等を受け業務改善に繋げています。	これからも保護者の方々への想いや意向を把握できる環境を職員全体で整えていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日々職員同士で意見を交換していきながら業務改善に努めています。	現状の取り組みを継続していくとともに、より密に職員同士で情報共有していきながら、業務改善に繋げていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		第三者委員会は設置しているが、外部評価については受けていない。	法人にて、検討していきながら必要に応じて実施する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		新人研修(法人内)、虐待防止、人権擁護、身体拘束の適正化、感染予防、BCP研修、リーオンミーでの研修、職員会議内でのケース会議などを実施しています。	現状の取り組みを継続するとともに、三木自由が丘ゆらんこの考え方や想いを共有できる研修なども行っていきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページに掲載しており、その旨を保護者の方にお伝えさせていただいております。必要に応じて保護者の方に配布しております。	現状の取り組みを継続していきます。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		毎日の療育の振り返りを行い、日頃の様子等を保護者の方と面談を行うことでニーズや課題の把握に努めています。	現状の取り組みを継続するとともに、多角的な視点で分析できるように、全職員の資質向上を図ります。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		日頃から共通理解ができる環境を設けています。	現状の取り組みを継続するとともに、共通理解がしやすい環境や時間を増やしていきます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		療育前に確認できるように工夫しています。	日々の情報共有なども含めて、より良い支援を行っていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		フォーマルなアセスメントとインフォーマルなアセスメントのどちらも用いて子どもの様子や行動を確認・把握しています。	現状の取り組みを継続していきます。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		アセスメントミーティングで話し合いを重ね、必要な項目を考えた上で支援内容を設定しています。	現状の取り組みを継続していきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		児童指導員・保育士が活動プログラムの立案を担当し、前日の打ち合わせ時に立案したプログラムについて職員全体で話し合っています。	現状の取り組みを継続するとともに、より楽しく子どもたちが成長できるプログラムを考えられるよう常日頃からアンテナをはっていきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・お子様の声も取り入れながら季節の行事やお出かけ、お買い物学習など先を見据えた経験ができるような内容、家庭ではなかなか経験できないことなども取り入れています。また家庭でも取り組めるような活動も行っていきます。	さまざまな考え方や視点、知識を持ちながら活動内容が固定化しないよう工夫していきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		子どもの様子や状況に合わせて個別活動や集団活動、その他の活動を取り入れ、児童発達支援計画を作成しています。個々に合わせて支援を行っています。	これから子どもたち1人1人の想いや気持ちに寄り添いながら支援していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		保育前には必ず打ち合わせを実施しています。内容、役割分担を確認するとともに前回利用時の様子を振り返り、当日の支援について職員間で共有・確認を行っています。	現状の取り組みを継続するとともに、より共有や確認が行いやすい環境・時間を作っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・支援後だけでなく、気づいたことがある時にすぐに共有してより良い支援に繋げている ・保育終了後にはその日の子どもの様子や支援内容等の振り返りを行い職員間で共有しています。	支援の振り返りはおこなっているが、その日出勤していない職員への共有が漏れることがある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		主に連絡帳の記録をもとに、職員同士で話し合いを進め、次回からの支援の検証・改善に繋げています。	現状の取り組みを継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的に保護者の方と話し利用者や保護者の要望を受け、適宜見直しを行っております。	現状の取り組みを継続するとともに、変更点がある場合は、すぐに保護者の方に共有させていただきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者と、その時の状況に応じてが児童指導員や専門職員が参加しています。	現状の取り組みを継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		お母様からの聞き取り等で対応しています。	現状の取り組みを継続するとともに、連携体制を強化し、支援を行っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		送迎の際の情報共有だけでなく、定期的に会議を開催したり、園訪問、事業所来訪を行い保育所等、外部の施設との連携を日常的に行っております。	現状の取り組みを継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		書面やお電話などの情報共有や実際に利用されている児童と保護者の方と一緒に小学校の見学に行かせていただいております。	現状の取り組みを継続するとともに、より相互理解が深められる方法を考えていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		必要に応じて地域の児童発達支援センターと連携を図り支援内容を深めています。	現状の取り組みを継続していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		保護者の方々の意向を聞きながら進めています。	保護者の意向をくみ取りながら、他のお子様との交流できる機会があるか検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		保護者との連絡を密に行い、日常的にお子様の様子を話しやすい環境を作っています。	現状の取り組みを継続するとともに、常に保護者の方と共通理解ができるように様々なコミュニケーションの方法を考えていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	ペアレント・トレーニングはおこなっていませんが、事業所内相談を行うことで家族支援を行っています。	今後はペアレントトレーニングなどの実施も検討していきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		しっかりと時間を設けさせていただき、丁寧に説明をさせていただいております。	現状の取り組みを継続していきます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		日々の子どもとの関わりや定期的な保護者の方との面談などで思いや意向を確認しています。	現状の取り組みを継続するとともに、常にこどもや保護者の方と密にコミュニケーションをとっていきます。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		ご説明させていただいた際は、児童発達支援計画の書面を提示させていただき、保護者の方の同意をいただいております。	現状の取り組みを継続していきます。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		急な相談であっても時間を取って面談や助言をおこなっています。	今後もいつでもご相談いただきやすい環境を常に整えていきます。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		保護者会の開催はおこなっていないが、行事の際等は保護者同士で交流できるよう席順の配慮を行い、広く交流できるよう呼びかけています。	これから子どもたちや保護者の方々が楽しく交流できる機会を作っていきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		保護者の方にとって、ご相談していただきやすい環境づくりに努めています。	今後もいつでもご相談していただきやすい環境を常に整えていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	定期的な通信等は発行していないが、行事の際には早めに情報の共有をおこなっています	これからも密に情報共有しやすい環境を整えていき、活動の内容や子どもたちの様子を分かりやすく伝えていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		職員への個人情報及び取り扱いについての認識の徹底。保護者に向けては個人情報使用同意書及び写真掲載の同意書をとり、取り扱いには十分な注意を払っている。	現状の取り組みを継続していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		口頭だけでなく紙面やホワイトボード、絵カードを利用し視覚的にも情報を分かりやすくしています。保護者との連絡手段としてはLINEやショートメッセージなども使用しています。	現状の取り組みを継続するとともに、より良い方法があるか常に意識していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	地域住民の招待はしていないが、行事には兄弟や祖父母、親戚等幅広い参加を促しています。	地域住民の方々との信頼関係を深めていき、地域の方々を参加していただけるイベントの企画も行っていきたいと思っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルを策定し、毎月活動のプログラムのなかでいろいろ災害や防犯の事例発生を想定した避難訓練を行っております。行った訓練内容を連絡帳等で保護者の方々にお伝えさせていただいております。	現状の取り組みを継続するとともに、都度見直しを行い、改善していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画を策定し、定期的な見直し、職員への周知・研修・訓練を行っています。	現状の取り組みを継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		利用される日には都度お子様の体調を伺い、服薬や予防接種の日程や有無についてもお聞きしています。てんかん発作等をお持ちのお子様に関しても都度体調面をお聞きし、使用するお薬などのガイドブックを確認しています。	現状の取り組みを継続していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		医師の指示書が必要なケースはないが、保護者からの情報を得て食物アレルギーの対応をしています。	現状の取り組みを継続するとともに、アレルギーについての知識を職員全体で深めていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		ガイドラインに基づき、安全計画を作成しています。安全確保を十分行うため、職員の研修や訓練を徹底しています。	現状の取り組みを継続していきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		個別支援計画にも記載し安全計画を基に直接お伝えさせていただいております。避難訓練を行った日には連絡帳にしっかり記載させていただいております。	現状の取り組みを継続していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		職員内でしっかり共有し、今後再発しないために都度話し合っています。	現状の取り組みを継続するとともに、安全かつ楽しい環境作りを徹底していきます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		施設内研修で虐待研修、身体拘束についての研修を行った。	現状の取り組みを継続するとともに、学びの機会を増やしていきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		法人で身体拘束禁止に関する施設内取り決め事項を決定。またやむを得ない場合があるときは保護者との懇談で了解を得てから、支援計画に記載する。	現状の取り組みを継続するとともに、支援方法の検討をしながら、今後も取り組んでいきます。	